

<阿倍野防災センター体験&あべのハルカス見学会の報告>

○開催日／2019年10月5日(土) ○参加者／10名

まず、阿倍野防災センターを訪問しました。起震装置を用いた震度7地震体験コーナーでは地震の揺れの怖さを実感しました。その装置は東日本大震災や阪神淡路大震災級など過去に起きた8つの地震波を選択することができますし、壁面には地震波の動きが表示される仕組みになっていました。また、地震発生時の避難・消火・救助などの体験や地震発生後の危機回避をリアルな街並みの様子で学習できました。また、地震シミュレーター(模擬計算)では阪神淡路大震災や想定される南海



トラフ巨大地震の揺れなど一度体験しておくことで実際に地震が来た際に冷静さを保つための知識となる防災訓練であって、貴重な体験をさせて頂きました。目で見るといろいろな映像・構成では最新のAI(人工知能)が採用され、素晴らしい施設だなあと感心しました。

次に、徒歩で日本一高いビル「あべのハルカス」に向かいました。まず、23階に有る阪南大学のあべのハルカスキャンパスを訪問し、阪南大学の小林課長よりあべのハルカスの概要についてビルが完成するまでの経緯やビルの特徴(構造概要、ビルの耐震性能、ビルの環境性能等)のお話を詳しく頂きました。ビルに関する情報を身に着け日本一高い超高層複合ビルの最上階に行きました。そこで地上300mから見下ろす大阪一円の街並を望むことは本当に感無量でした。



遠く神戸市内や明石海峡大橋そして関西国際空港等々も一望出来ました。何も遮られることのない360度の絶景を今までの経験したことのない体験でした。

60階の展望台から2階下がってオープンエアーの空間にある椅子席のカフェダイニングバーに到着。比較的安価な値段表をみて、当初ビル外に移動する予定を変更して、1人当たりビール1グラスとおでん3個を購入して1時間ほど意見交換した。

内容は防災の知識と意識の高揚、最近の大学の動きが理解でき、東のスカイツリーに次ぐ西日本一の景観が楽しみ、充実した一日であった。

